

## 大規模災害を想定した、本番さながらの訓練

11月17日(火) 玉川上水車両基地にて

# 「2020年度 総合復旧訓練」を実施しました

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:喜多村 樹美男)では、11月17日(火)、玉川上水車両基地(東京都東大和市)において、「2020年度 総合復旧訓練」を実施しました。

これは、大規模災害による事故を想定し、災害が発生したときお客さまの安全を最優先に、早期に復旧できるよう毎年実施している実践的な訓練です。

西武グループでは、「ESG」に関する活動を「サステナビリティアクション」としてグループ全体で取り組んでおり、本訓練は「安全」の領域における当社の取り組みです。

詳細は、以下のとおりです。

### 1. 訓練日時

2020年11月17日(火)10時00分~12時30分

### 2. 訓練想定

「大型台風が関東地方に上陸し、沿線各地に大きな被害が発生。池袋線は入間市~仏子駅間において土砂崩壊が発生し、電車が土砂に乗り上げ脱線する事故が発生した。電車内の乗客に怪我人が発生している。

また、強風の影響により軌間内に支障物が多く発生し、電車は全線で停止する状況となり、ターミナル駅では大勢の帰宅困難者も発生した状態となっている。」

### 3. 訓練内容

- ・土砂崩壊・脱線事故処置の対応訓練
- ・避難誘導訓練
- ・倒木の処置訓練
- ・土砂の撤去訓練
- ・土砂崩壊の脱線復旧訓練
- ・踏切警報機倒壊復旧訓練
- ・電車線不具合復旧訓練
- ・帰宅困難者対応訓練
- ・訪日外国人対応訓練 など



喜多村社長による講評の様子

### 4. 訓練の様子

- ・運輸部による避難誘導訓練
- 乗車中や駆け付けた社員およびお客さまの協力を得て、車両に設置した非常梯子などにより、すべてのお客さまを降車させ最寄りの駅まで避難・誘導する想定で訓練を行いました。



・工務部による倒木の処置訓練

線路を支障している倒木をチェーンソーで切断処理し、倒木を線路外へまとめておき、モーターカーのクレーンで保線車両に積み込み運搬する訓練を行いました。



・車両部による土砂崩壊の脱線復旧訓練

2基の油圧ジャッキなどを使用し、車両を水平に保ちながら車体をレール上面まで上昇させます。作業者が呼吸を合わせながら慎重にレールまで横送りし、復線させる訓練を行いました。



・電気部による踏切警報機倒壊復旧訓練

倒壊した踏切警報機に2本のロープを結び付けて、立ち上げる復旧訓練を行いました。



## 5.その他

本年は、新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止を目的に、見学・乗客役をしていただくお客さまの募集は行わずに実施しました。

### ◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL.(04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[短縮営業時間: 9時~17時(全日)]

※お客さまおよび従業員への新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止を目的に、当面の間、平日の営業時間を短縮しております。

以上